16 忠海の伝統

続けよう神明祭

神明祭は，約４００年前から今も続いている忠海東町の祭りです。神明は昔，浦宗勝がいくさに勝つために作ったのが始まりで，それを地域の人が今に引き継いできたといわれています。以前は，各区ごとに一つずつ作って海で燃やしていましたが，今は，大神明と小神明の２柱を学校の校庭に立て燃やしています。神明が燃える時はとてもきれいです。

しかしぼくは，それを自分たちが引き継いでいけるかどうか心配になることがあります。それは，学校が合ぺいして，この忠海東小学校がなくなってしまうかもしれないからです。

不安はたくさんありますが，地域の人たちが守り続けてきたこの町の伝統，４００年という長い歴史と伝統の重みを，ぼくはずっと引き継いでいきたいです。

竹原市立忠海東小学校　６年　藏本　翔太